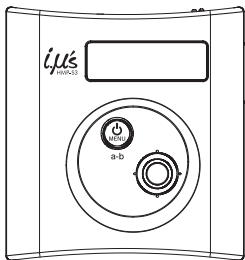
取扱説明書

日立リビングサプライ

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ずご記入をお受けください。

デジタルオーディオプレーヤー

HMP-S3形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

注意

- 本機は内蔵メモリを搭載していないため、SDメモリーカード（別売）が必要になります。ご使用する前にご準備ください。詳しくは、***P.22***をご覧ください。
- 曲名を日本語で表示するには、付属の「曲名日本語表示ファイルCD-ROM」に入っている「FONT.$$$」ファイルを、曲ファイルの入っているSDメモリーカードにコピーする必要があります。詳しくは、***P.25***をご覧ください。

目　次

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 絵表示の例

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠	「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠	「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

⚠警告

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因になります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

⚠警告

■ 異常が起きたら、USBケーブルを取り外し、電池を外す

指示

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない

禁止

水・異物が内部に入ったら、電池を外してください。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 水がかかる場所で使用しない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場・シャワー室で使用しない

水場禁止

火災・感電の原因になります。

⚠警告

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので、音量は徐々に上げるようご注意ください。

■ 置き場所に注意する

指示

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。また、窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因になります。

■ 火に近づけたり、火の中に投げ込まない

禁止

破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

■ お子様の手の届かないところで使用・保管する

指示

乳幼児が誤って電池などを飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

■ アルカリ乾電池に注意する

指示

アルカリ乾電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

⚠警告

■ 電池を分解、加工、加熱しない 電池を落としたり、衝撃を加えない アルカリ電池は充電しない 電池を金属製品と一緒に保管しない

禁止

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 指定外の方法で電池を使用しない

禁止

電池は極性（＋、－）表示通りに入れてください。

⚠注意

■ 本体やUSB端子を布団などで覆った状態で使わない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

■ コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■ 飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない

禁止

事故の原因になることがあります。

■ 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■ 異常な高温になる場所に置かない

禁止

暖房器具に近いホットカーペットの上、窓を閉め切った自動車の中や直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

⚠注意

■ 本機の上にものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

禁止

■ 本機をネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する

けがや本体の故障の原因になることがあります。

指示

■ ネックストラップの取り扱いに注意する

首が絞まりすぎないように、ネックストラップの取り扱いにはご注意ください。

指示

あらかじめご承知いただきたいこと

免責事項

- 本製品およびパソコンの不具合によってデータが破損、または消去された場合のデータの補償に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用によって生じたその他の機器やソフトの損害に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、中断を含む）に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品またはSDメモリーカードの不具合で録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- 放送やＣＤ、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したデータを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。（JASRAC 本部： TEL. 03-3481-2121）

商標について

- Windowsは、Microsoft Windows operating systemの略称です。
- Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中に™、®はマーク明記しておりません。

使用上のご注意

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを必ず事前に確認してください。

SDメモリーカードを準備してください

本機は内蔵メモリを搭載していないため、SDメモリーカード（別売）が必要になります。ご使用する前にご準備ください。詳しくは、***P.22***をご覧ください。

曲名を日本語で表示するには

曲名を日本語で表示するには、付属の「曲名日本語表示ファイルCD-ROM」に入っている「FONT.$$$」ファイルを、曲ファイルの入っているSDメモリーカードにコピーする必要があります。詳しくは、***P.25***をご覧ください。

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0～40℃（結露しない状態）です。

温度差の大きい場所へ急激に移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な再生ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機のビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませた後、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池を本機から取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

本書について

- 本書に記載している表示画面の表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- 本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、カタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。
- 本書に記載の外観および仕様は、製品改良のために予告なく変更することがあります。

お手入れ

柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。

主な特長

SDメモリーカードスロット搭載

● SDメモリーカード（別売）は、64MB～1GBまで対応しています。→***P.22***

USBフラッシュディスク機能

● 付属のUSBケーブルでパソコンに接続すると、音楽ファイルだけでなく、画像ファイルやその他のデータをSDメモリーカードに保存できます。→***P.31***

MP3・WMA対応

● MP3、WMA形式のファイルを再生できます。→***P.27***
● 自分でCDから取り込んだ曲ファイルだけでなく、インターネットからダウンロードした曲ファイルも再生できます。→***P.30***

ID3タグ対応

● 曲名などの曲情報を表示できます。→***P.27***

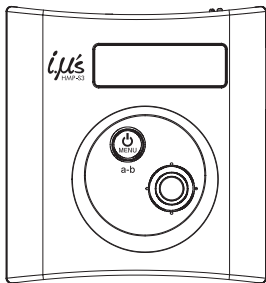
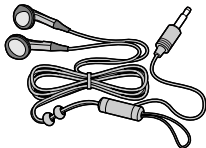
A-Bリピート機能

● 聞きたいパートを何度でも繰り返し再生できます。→***P.48***

イコライザ機能

● 曲に合わせて音質を選ぶことができます。→***P.46***

付属品を確認する

はじめに、付属品がそろっているか確認してください。

- 本体..................................1
- ネックストラップ付きイヤホン 1
- 単4形アルカリ乾電池 1
- 専用USBケーブル 1
- ポーチ..............................1
- 本書（保証書付）...........1
- 曲名日本語表示ファイルCD-ROM 1

※ 以降本書では、上記の「専用USBケーブル」を「USBケーブル」と表記します。

※ SDメモリーカードは別売です。

各部の名前

【上面】

①②

◀HOLD

③

【左側面】　【前面】　【右側面】

⑥

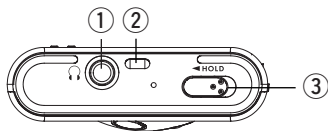
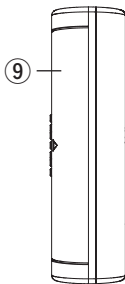
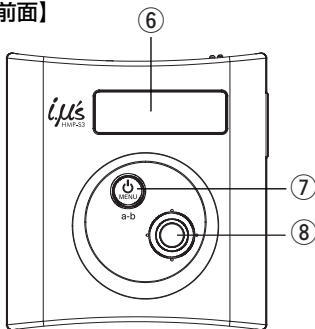
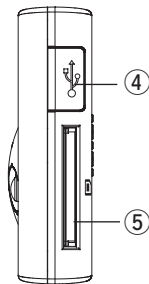
⑨

i.μ's HMP-S3

⑦ MENU a-b

⑧

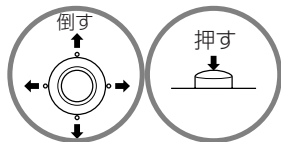
④

⑤

①イヤホン端子
②ストラップ通し穴
③HOLD（ホールド）スイッチ
④USB端子
⑤SDメモリーカードスロット
⑥表示画面
⑦電源／MENU（メニュー）ボタン

※ A-Bリピート機能（→***P.48***）にも使用します。

⑧操作ボタン

※ 再生／一時停止／停止／早送り／早戻し／音量調節などの基本操作（→***P.21, 41, 43***）時に使用します。

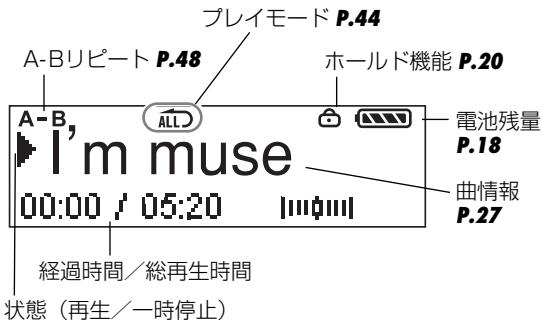
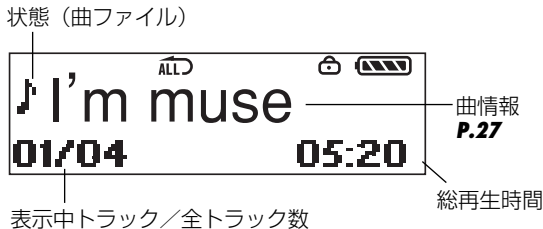
倒す　押す

⑨電池ぶた

表示画面の見方

【表示画面】 曲ファイル再生・一時停止時

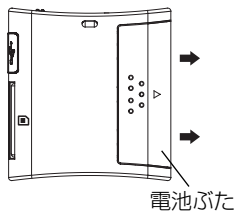
プレイモード ***P.44***
A-Bリピート ***P.48***
ホールド機能 ***P.20***
A-B ALL
I'm muse
00:00 / 05:20
電池残量 ***P.18***
曲情報 ***P.27***
経過時間／総再生時間
状態（再生／一時停止）

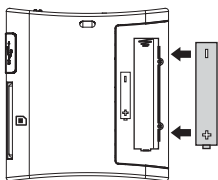
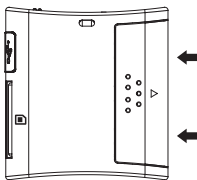
【表示画面】 曲ファイル表示・停止時

状態（曲ファイル）
ALL
I'm muse
01/04 05:20
曲情報 ***P.27***
総再生時間
表示中トラック／全トラック数

注意

● 曲名を日本語表示する場合は、付属の「曲名日本語表示ファイルCD-ROM」に入っている「FONT.＄＄＄」ファイルを、曲ファイルの入っているSDメモリーカードにコピーする必要があります（***P.25***）。

電池を入れる／交換する

電池の交換は電源をオフにして行ってください。本体が故障したり、曲ファイル及びデータが破損する恐れがあります。（「電源をオンにする／オフにする」***P.20***）

電池ぶた

1 電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて、取り外します。

2 図のように極性（＋、－）を間違わないように電池を入れます。

3 電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて、閉めます。

注意

- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は、電池が落下しないようにご注意ください。

■使用できる電池について

本機は単4形アルカリ乾電池以外に、単4形ニッケル水素電池を使用できます（日立マクセル(株) HR-4SD推奨)。

注意

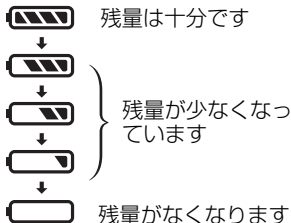
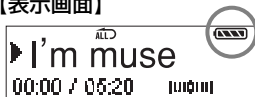
- 単4形マンガン乾電池は使用できません。電池寿命が極端に短くなったり、誤動作を起こす場合があります。
- 付属のアルカリ乾電池は基本操作を確認していただくために同梱しているものです。実際に使用される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
- オキシライド乾電池を使用することは可能ですが、電池残量の表示など正しく表示できない場合があります。

■電池残量表示について

表示画面の右上のアイコンは、電池残量を示しています。
電池残量が少なくなったら、新しい電池と交換してください。

残量は十分です

残量が少なくなっています

残量がなくなります

※ この表示の場合、バックライトが点灯しなかったり、正常に動作できない場合がありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。

【表示画面】

I'm muse
00:00 / 05:20

注意

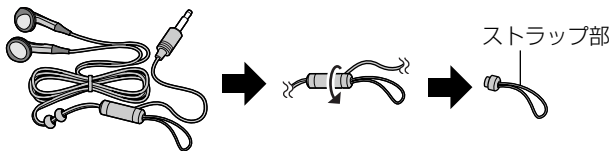
- 使いきった電池は、各自治体の条例に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、消去中に電池を抜くと、録音内容は保存されません。また、録音内容が壊れる可能性がありますので操作中に電池を抜かないでください。
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

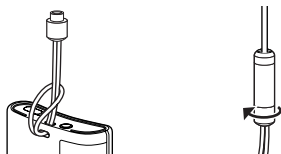
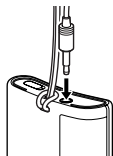
ちょっとこれを！

- 連続再生時間･･････････････約10時間
  ※ MP3（128kbps）、音量：7、バックライトなしに設定した場合。

イヤホンを使用する

本機はネックストラップ付きイヤホンを採用しています。

1 **付属のネックストラップ付きイヤホンを図のようにネジを緩めて、ストラップ部を外します。**

ストラップ部

2 **ストラップ部を本体のストラップ通し穴に通し、ネジを締めてストラップ部を元のように取り付けます。**

3 **イヤホンのプラグをイヤホン端子に差し込みます。**

電源をオンにする／オフにする

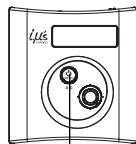
電源をオンにする

図のように電源／MENUボタンを長押しして、電源をオンにします。

【前面】

電源／MENUボタン

注意

● ホールド時は電源が入りますが、表示画面に「Hold！」が表示され、電源がその後すぐ切れます。ホールド状態を解除してから電源を入れ直してください。

電源をオフにする

電源／MENUボタンを電源が切れるまで押し続けます。

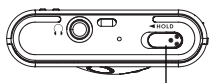
注意

● 電源／MENUボタンを押す操作が短すぎると、電源がオフにならない場合があります。

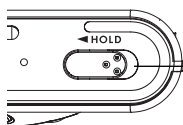
ホールド機能を使う

カバンに入れて使うときなどに誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐためにホールド機能を使用します。

HOLDスイッチを矢印方向にスライドさせると、ホールド状態になります。

【上面】

HOLD

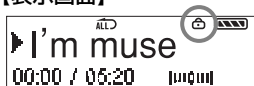
HOLDスイッチ

ホールド状態

HOLD

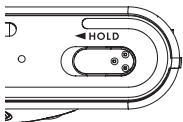
オレンジのシートが見えます

ホールド時は、表示画面に「 🔒（鍵マーク)」が表示され、各操作ボタンがはたらかなくなります。

【表示画面】

I'm muse
00:00 / 05:20

解除するときは、HOLDスイッチを元の位置に戻します。

解除時

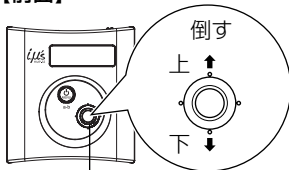
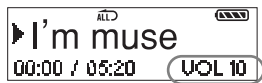
◀HOLD

音量を調節する

再生または一時停止、停止中に、操作ボタンを上（音量+）または下（音量−）の方向に倒します。

【前面】

倒す
上
下
操作ボタン

【表示画面】

I'm muse
00:00 / 05:20 VOL 10

0（無音）から15までの間で調節できます。

注意

● 音量の調節は、音量を確認しながら行ってください。

SDメモリーカードについて

■使用できるSDメモリーカード

本機はSDメモリーカード（別売）を使用します。
（64/128/256/512MB/1GB対応）
（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコム、（株）アドテックのSDメモリーカードを推奨します。ご使用の際は、**必ずSDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**

注意

- SDメモリーカード以外を差し込まないでください。
- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタル機器やパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、フォーマット（初期化）してから使用してください。（***P.55***）
- SDメモリーカードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。
- 無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、静電気を帯びていると、認識されなかったり、本体が誤動作することがあります。大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へバックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードを使用中、誤動作や故障によって、保存内容が失われる場合があります。保存されたデータの損失については、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- SDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットし直すことによって、正常に動作することがあります。（そのとき保存されているデータは消去されます。）（***P.55***）
- SDメモリーカードは取込や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的にフォーマットすることをおすすめします。（***P.55***）

● SDメモリーカードの金属端子部を手や金属で触らないでください。金属端子部が汚れているときは、乾いた布などで軽く拭き取ってください。

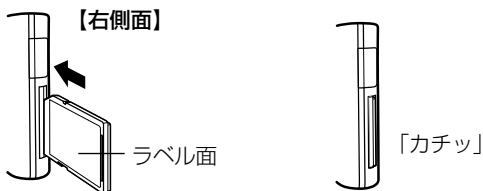
■SDメモリーカードの差し込み／取り出し

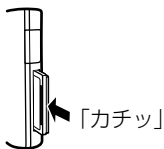
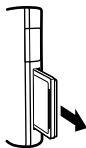
SDメモリーカードを差し込んだり、取り出したりする場合は、必ず電源オフの状態で行ってください。SDメモリーカードやSDメモリーカード内の曲ファイル及びデータが破損する原因になります。（「電源をオンにする／オフにする」***P.20***）

1 **矢印方向にSDメモリーカードを、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。**

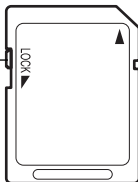
【右側面】

ラベル面

「カチッ」

2 **取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押すと、SDメモリーカードを取り出せる状態になります。**

「カチッ」

3 **矢印方向にSDメモリーカードを引っ張って取り出します。**

■書き込み禁止スイッチ

書き込み禁止スイッチを「LOCK」にすることで大切なデータを保護することができます。新たにSDメモリーカードにデータを転送／消去したり、編集するときは、「LOCK」を解除してください。

【SDメモリーカード】

曲名を日本語表示にする

曲名を日本語で表示する場合は、付属の「曲名日本語表示ファイルCD-ROM」に入っている「FONT.$$$」ファイルを、曲ファイルの入っているSDメモリーカードにコピーする必要があります。以下の手順に従って操作してください。

1　付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

付属のCD-ROMは「マイコンピュータ」に「HMP-S3」として表示されます。「HMP-S3」を開き、「FONT.$$$」ファイルが表示されているか確認します。

2　*P.31*の手順2に従って、本機とパソコンを接続します。

本機をパソコンに接続する前に、必ずSDメモリーカードを差し込んでください。

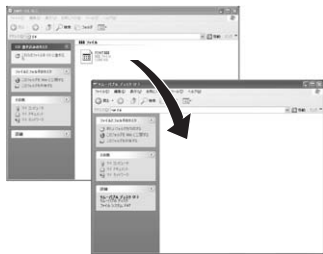
再生する前に

3　「マイコンピュータ」を開き、本機に該当する「リムーバブルディスク」が表示されているか確認します。

本機は、「リムーバブルディスク」として表示されます。「リムーバブルディスク」が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に** ***P.58***をご覧ください。

4　本機に該当する「リムーバブルディスク」に「FONT.$$$」ファイルをドラッグ&ドロップ（コピー）します。

注意

● 本機に差し込んでいるSDメモリーカードに「FONT.$$$」ファイルがコピーされていないと、曲名を日本語で表示できません。

5　***P.35***の手順に従って、パソコンから本機を取り外します。

パソコンから曲ファイルを取り込む

■パソコンから曲ファイルを取り込む前に

○再生できるファイル形式を確認する

以下の条件のファイルを再生できます。

● MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
　ビットレート：8～320kbps

※ 曲情報はID3［Ver.1］タグ形式に対応していますが、本機で表示できる曲情報は「曲名」のみです。ID3タグ形式の他の曲情報（アーティスト名やアルバム名など）は表示されません。***P.57***

● WMA（Windows Media Audio）
　ビットレート：32～192kbps

※ デジタル著作権管理（DRM9）対応のWMAファイルも再生できます。

注意

● MP3ファイルの場合は128kbps以上、WMAファイルの場合は64kbps以上のビットレートを推奨します。上記ビットレート以下の場合でも、再生することはできますが、音質が低いために音が割れて聞こえることがあります。
● デジタル著作権管理（DRM）対応のWMAファイルは、デジタルデータの著作権を保護するため複製に制限がかけられています。***P.57***

収録可能な曲数（目安）

ファイル形式	ビットレート	SDメモリーカード（別売）				
		64MB	128MB	256MB	512MB	1GB
WMA	64kbps	約30曲	約60曲	約120曲	約240曲	約480曲
	96kbps	約22曲	約45曲	約 90曲	約180曲	約360曲
	128kbps	約15曲	約30曲	約 60曲	約120曲	約240曲
	192kbps	約11曲	約22曲	約 45曲	約 90曲	約180曲
MP3	128kbps	約15曲	約30曲	約 60曲	約120曲	約240曲
	192kbps	約11曲	約22曲	約 45曲	約 90曲	約180曲
	256kbps	約 7曲	約15曲	約 30曲	約 60曲	約120曲

※ 一曲4分で換算した場合の目安。

ちょっとこれを！

- ビットレートの数値が大きくなると音質は向上しますが、ファイル容量は大きくなり、SDメモリーカードに記録できる曲数は少なくなります。推奨のビットレートを目安にお試し頂き、目的に応じたビットレート設定をしてください。

○パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続する場合は、以下の条件が揃っていることが必要です。接続する前に必ずご確認ください。

対応OS：Windows XP／2000／Me　日本語版
USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種
CD-ROMドライブを標準装備している機種

注意

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証しません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証しません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

○音楽CDから曲ファイルをパソコンに取り込む（パソコンに録音する）

Windows Media Player10などのソフトウェアを使うと、音楽CDからパソコンへ曲を取り込む（録音する）ことができます。
ここでは、Windows Media Player10を使った方法をご紹介します。
詳しくは、お手持ちのパソコンの取扱説明書やWindows Media Player10のヘルプをご覧ください。

1 **音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。**

2 **Windows Media Player 10を起動します。**

3 **画面上部の「取り込み」ボタンをクリックします。**

音楽CDから読み込んだ曲がリスト表示されます。すべての曲（チェックボックス）にチェックマークが付けられています。

「取り込み」ボタン

「音楽の取り込み」ボタン

チェックボックス

4 取り込まない曲のチェックボックスをクリックし、チェックマークを外します。

5 「音楽の取り込み」ボタンをクリックします。

選択した曲の取り込み（パソコンへの録音）が始まります。

ちょっとこれを！

- ［ツール］—［オプション］—［音楽の取込］で、取り込み場所、取り込みの形式、取り込みの音質（ビットレート）などを変更することができます。
- 特に変更をしない場合（初期設定）は、「マイミュージック」フォルダ内に「アーティスト名」フォルダが作成され、取り込んだ曲はそのフォルダ内に保存されます。アーティスト名を持たない場合は、「アーティスト情報なし」フォルダが作成され、そのフォルダ内に保存されます。

○音楽配信サイトからの音楽購入について

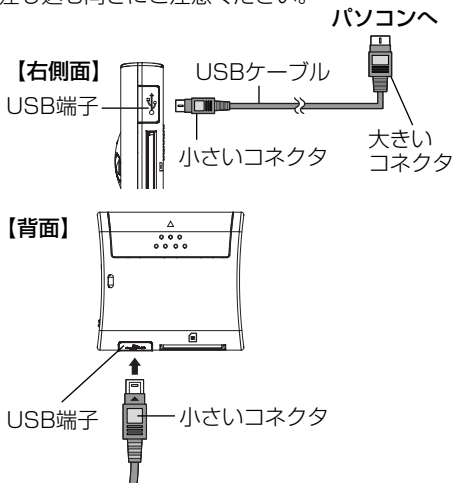
本機は、音楽配信サイトから購入して、ダウンロードした曲ファイルを取り込んで聞くことができます。

- 音楽配信サイトからの購入方法やダウンロードのしかたなどについては、音楽配信サイトの情報をご覧ください。
- ダウンロードした曲ファイルが本機で再生できるかどうかについては「再生できるファイル形式を確認する」をご確認ください。→***P.27***

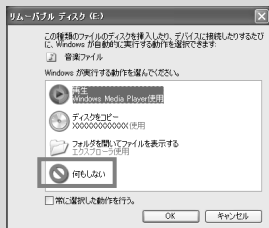
■パソコンに接続し、曲ファイルを取り込む

1 ***P.23***の手順に従ってSDメモリーカードを本機に差し込みます。

2 本機の電源をオンにして、付属のUSBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタを本機のUSB端子へしっかりと接続します。

差し込む向きにご注意ください。

注意

● パソコンに接続する場合は、必ず本機の電源をオンにしてから接続してください。接続した後に本機の電源をオンにすると、本機が正しく認識されない場合があります。

- 初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンが本機を認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってください。「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- Windows XPをお使いの場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]をクリックします。

3 「マイコンピュータ」を開き、本機に該当する「リムーバブルディスク」が表示されているか確認します。

本機は、「リムーバブルディスク」として表示されます。「リムーバブルディスク」が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に*P.58***をご覧ください。

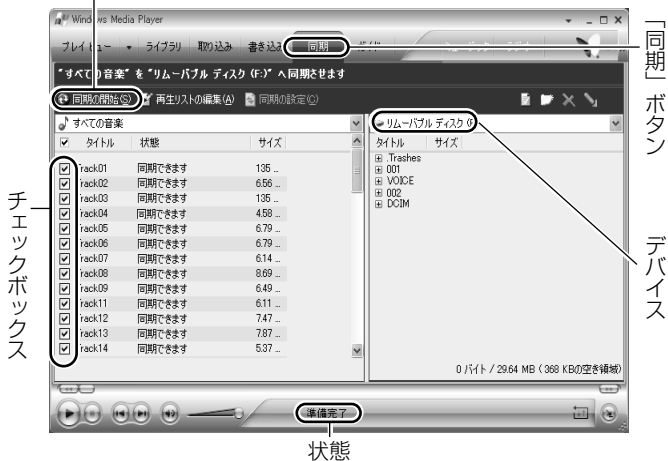
4　Windows Media Player 10を起動して、「同期」をクリックします。

「同期の開始」

「同期」ボタン

チェックボックス

デバイス

状態

5　転送したい曲をメニューから選択します。

チェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
（個別に選ぶことができます。）

6　デバイスの項目で本機に該当するリムーバブルディスクを選択します。

7 「同期の開始」をクリックして、転送を開始します。

転送を開始すると状態が「転送しています」と表示されます。
転送が終了すると「デバイスへ同期済み」に変わります。

注意

- 本機の表示画面に「処理中...」と表示されているときは、USBケーブルは抜かないでください。保存されている曲ファイルや記録されているデータなどが破損する恐れがあります。
- パソコンと接続中は、本機のボタン操作は無効になります。

■パソコンから取り外す

パソコンから取り外すときは、以下の手順で行ってください。

注意

● 正しい取り外し方をしないと、本機やパソコン、データが破損する恐れがあります。必ず正しい取り外し方でUSBケーブルを取り外してください。

1 **本機を利用しているアプリケーションをすべて終了します。**

2 **デスクトップの右下にある「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックします。**

Windows XPの場合 Digicam USB Mass Storage - ドライブ (E:) を安全に取り外します

17:17

Windows 2000の場合 Digicam USB Mass Storage Device - ドライブ (J:) を停止します

9:46

Windows Meの場合 USB ディスク - ドライブ (E:) の停止

0:28

3 「USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します」をクリックします。

複数表示される場合は、本機に該当する項目をクリックしてください。本機の表示は、「マイコンピュータ」などで確認してください。

4 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。（Windows XPでは「OK」のクリックは不要です。）

5 本機を取り外します。

再生する

フォルダ構造について

パソコンの操作で、SDメモリーカードの中にフォルダを作成できます。本機では、フォルダ表示されるのは第1階層までです。第2階層以下のフォルダは表示されません（フォルダ内の曲ファイルは表示されます）。

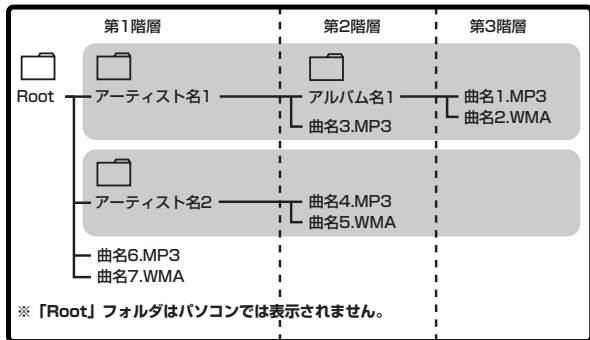
注意

- 本機で認識可能（曲ファイルが表示可能）なフォルダ階層数の制限は、15までです。それ以下の階層では、フォルダはもちろん、曲ファイルも認識されません。

フォルダを作成したときのSDメモリーカード内のイメージ

第1階層　第2階層　第3階層

Root
- アーティスト名1
  - アルバム名1
    - 曲名1.MP3
    - 曲名2.WMA
  - 曲名3.MP3
- アーティスト名2
  - 曲名4.MP3
  - 曲名5.WMA
- 曲名6.MP3
- 曲名7.WMA

※「Root」フォルダはパソコンでは表示されません。

①：「アーティスト名1」フォルダに表示されるファイル
　　曲名1.MP3、曲名2.WMA、曲名3.MP3
　（第2階層以下のフォルダ（この場合「アルバム名1」フォルダ）は表示されません。（フォルダ内の曲ファイルは表示されます。））

②：「アーティスト名2」フォルダに表示されるファイル
曲名4.MP3、曲名5.WMA
③：「Root（ルート）」フォルダに表示されるファイル
曲名1.MP3～曲名7.WMA
※「Root」フォルダは、SDメモリーカードに保存されているすべての曲が表示されます。フォルダに入っていない曲ファイル（この場合「曲名6.MP3」、「曲名7.WMA」）もこのフォルダ内に表示されます。

ちょっとこれを！

● SDメモリーカード内の第1階層に、好きな曲、よく聞く曲などアーティスト／アルバムごとのフォルダを作成しておくと、再生時に選択しやすく、便利です。

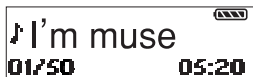
表示について

再生する

電源を入れた直後の表示

フォルダに関係なくすべての曲ファイルが表示されます。作成したフォルダ内の曲ファイルのみ表示させたい場合は、フォルダ表示に切り換えてください。

【表示画面】電源をオンにした直後の表示

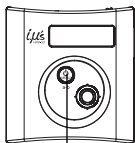
♪I'm muse
01/50 05:20

注意

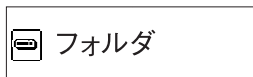
● 電源をオンにした直後は必ずすべての曲が表示されます。

フォルダを表示する

メニューで「フォルダ」を選ぶと、フォルダ表示に切り替えられます。

1　停止状態で電源／MENUボタンを押して、「フォルダ」を表示します。

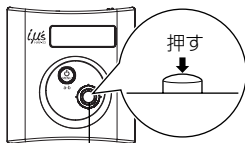
【前面】　【表示画面】

フォルダ

電源／MENUボタン

2　操作ボタンを押します。

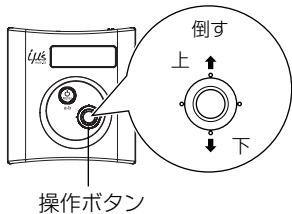
「Root」フォルダが表示されます。「Root」フォルダの中は、SDメモリーカードにあるすべてのファイルが表示されます。「Root」フォルダは作成しなくても自動で表示され、パソコンでは表示されません。

【前面】　【表示画面】

押す

Root

操作ボタン

3 操作ボタンを上下に倒して、再生したい曲ファイルが入っている第一階層にあるフォルダを選びます。

【前面】

【表示画面】

フォルダの中を表示する（曲ファイルを表示する）

停止状態で再生したい曲ファイルが入っているフォルダを選び、操作ボタンを押します。

フォルダ内（曲ファイル）を表示しているときは「♪」が表示され、表示画面の下に「選択しているファイル番号／フォルダ内のファイル数」が表示されます。

【前面】

【表示画面】

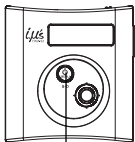
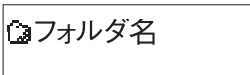
フォルダ表示に戻る

フォルダの中を表示しているとき、停止状態で電源／MENUボタンを押します。

【前面】

電源／MENUボタン

【表示画面】

フォルダ名

曲ファイルを再生する

■再生／一時停止／停止する

再生／一時停止／停止は操作ボタンで行います。
現在の状態は、表示画面にアイコン（ ▶ 、 ❚❚ 、 ♪ ）で表示されます。

再生 ▶ する

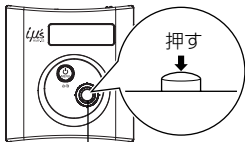
一時停止（ ❚❚ ）または停止（ ♪ ）中に、操作ボタンを押します。

【前面】

押す

操作ボタン

【表示画面】

I'm muse
00:00 / 05:20

再生時の表示

一時停止 ❚❚ する

再生（ ▶ ）中に、操作ボタンを押します。

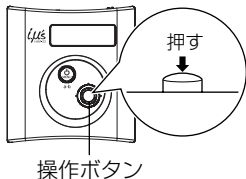
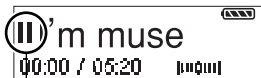
【前面】

押す

操作ボタン

【表示画面】

❚❚ I'm muse

00:00 / 05:20

一時停止中の表示

停止 ♪ する

再生（ ▶ ）または一時停止（ ❚❚ ）中に、操作ボタンを長押しします。

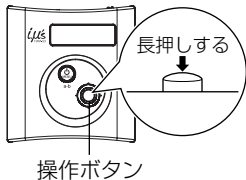
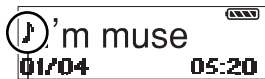
【前面】

長押しする

操作ボタン

【表示画面】

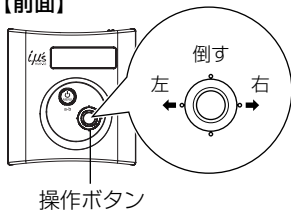
♪ I'm muse

01/04 05:20

停止時の表示

■早戻し／早送りする

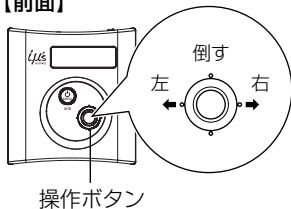
再生（ ▶ ）中に、操作ボタンを左右に倒します。

【前面】

倒す
左
右
操作ボタン

■1つ前／後ろの曲ファイルを表示する

一時停止（ ❚❚ ）または停止（ ♪ ）中に、操作ボタンを左右に倒します。

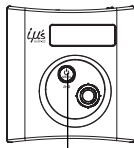
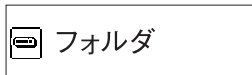
【前面】

倒す
左
右
操作ボタン

繰り返し／ランダム再生する

お気に入りの曲ファイルを繰り返し再生したり、ランダム再生したりすることができます。

1 **停止状態で電源／MENUボタンを押します。**

メニューが表示されます。

【前面】

電源／MENUボタン

【表示画面】

フォルダ

2 **操作ボタンを上下に倒して「プレイモード」を選び、操作ボタンを押します。**

選択できる「プレイモード」（4種類）が表示されます。

【前面】

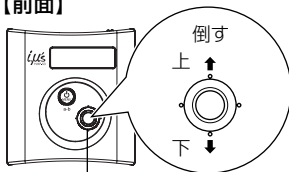
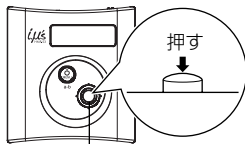
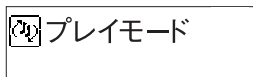
倒す

上

下

操作ボタン

【前面】

押す

操作ボタン

【表示画面】

プレイモード

(ノーマル)アイコンなし
すべての曲ファイルを1回再生します。

(リピートワン)
1つ曲ファイルのみ繰り返し再生します。

(リピートオール)
同じフォルダ内の曲ファイルを繰り返し再生します。

(リピート&ランダム)
同じフォルダ内の曲ファイルをランダムに繰り返し再生します。

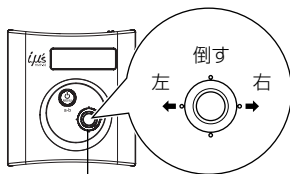
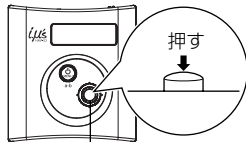
---

3 操作ボタンを左右に倒して、設定したい「プレイモード」を選び、操作ボタンを押します。

【前面】

【前面】

【表示画面】

再生する

音質を変更する（EQ（イコライザ）の設定）

お好みの音質を選んで再生できます。

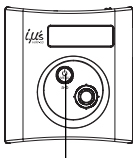
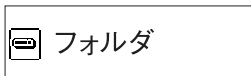
1 **停止状態で電源／MENUボタンを押します。**

メニューが表示されます。

【前面】

電源／MENUボタン

【表示画面】

フォルダ

2 **操作ボタンを上下に倒して「EQ」を選び、操作ボタンを押します。**

選択できるEQ（5種類）が表示されます。

Nor（ノーマル）／Clas（クラシック）／Pop（ポップ）／Rock（ロック）／Live（ライブ）

【前面】

倒す

上

下

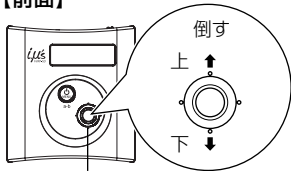
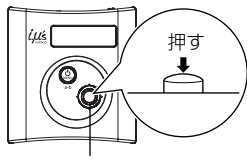
操作ボタン

【前面】

押す

操作ボタン

【表示画面】

EQ

3 操作ボタンを左右に倒して設定したい「EQ」を選び、操作ボタンを押します。

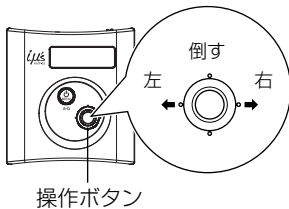
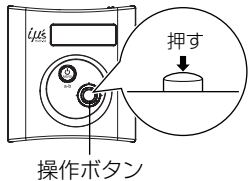
【前面】

倒す
左
右
操作ボタン

【前面】

押す
操作ボタン

【表示画面】

EQ
Nor Clas Pop Rock Live

再生する

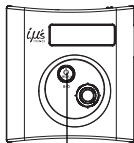
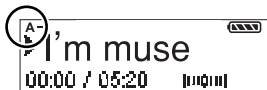
曲の一部を繰り返し再生する（A-Bリピート機能）

本機では、曲の一部を繰り返し再生することができます。開始位置（ポイントA）と終了位置（ポイントB）を設定すると、その区間を繰り返し再生します。

1　曲ファイルを再生中に、電源／MENUボタンを押します。（ポイントAが設定されます。）

表示画面に「A-」が表示されます。

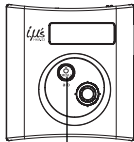
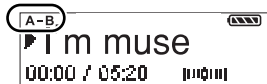
【前面】　**【表示画面】**

A-
I'm muse
00:00 / 05:20

電源／MENUボタン

2　電源／MENUボタンをもう一度押します。（ポイントBが設定され、繰り返し再生が開始されます。）

表示画面に「A-B」が表示されます。

【前面】　**【表示画面】**

A-B
I'm muse
00:00 / 05:20

電源／MENUボタン

3　繰り返し再生を解除する場合は、電源／MENUボタンを押します。

表示画面の「A-B」表示が消え、設定（ポイントA/B）は解除されます。

各種設定を変更する

以下の操作で各種設定を変更したり、確認したりすることができます。

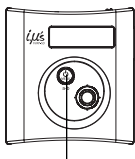
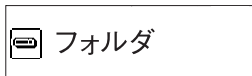
1　停止状態で電源／MENUボタンを押します。

メニューが表示されます。

【前面】

電源／MENUボタン

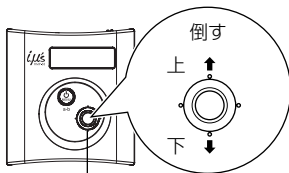
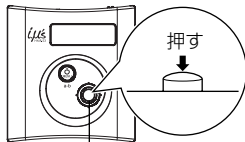
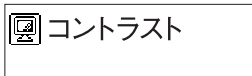
【表示画面】

フォルダ

2　操作ボタンを上下に倒して設定したい内容を選び、操作ボタンを押します。

【前面】

倒す
上
下
操作ボタン

【前面】

押す
操作ボタン

【表示画面】　コントラスト

コントラスト

3 操作ボタンを左右に倒してお好みの設定を選び、操作ボタンを押します。

設定した内容を保存し、メニューに戻ります。

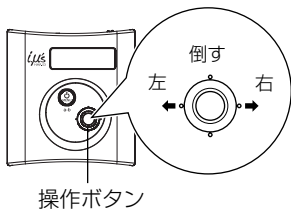
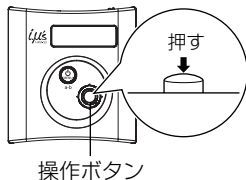
【前面】

倒す
左
右
操作ボタン

【前面】

押す
操作ボタン

【表示画面】　コントラスト

2
－ ■■□□□□ ＋

注意

● 一度電源をオフにするとお買い上げ時の設定（初期値）に戻ります。

メニュー項目と設定内容

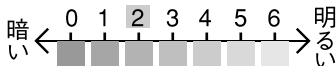
設定を変更する操作方法は「各種設定を変更する」（***P.49***）をご覧ください。

はお買い上げ時の設定（初期値）です。

コントラスト

表示画面のコントラスト（明るさ）を選びます。7段階（0～6）で調節できます。

（お買い上げ時：2 ）

暗い ← 0 1 2 3 4 5 6 → 明るい

パワーオフ

オートオフ

オートパワーオフの時間を設定します。
操作していない時間（再生や録音を停止している状態）が一定時間経過すると、自動で電源をオフにします。省電力のための機能です。

- **1m**　：1分間操作しないと電源をオフにします。
- **5m**　：5分間操作しないと電源をオフにします。
- **10m**　：10分間操作しないと電源をオフにします。
- **オフ**　：電源をオフにしません。

スリープ

スリープタイマーの設定をします。
設定時間が経つと、自動で電源が切れる機能です。
スリープタイマーは、電源が切れると「オフ」に戻ります。

- **15m**　：15分後に電源をオフにします。
- **30m**　：30分後に電源をオフにします。
- **60m**　：60分後に電源をオフにします。
- **オフ**　：スリープタイマーを無効にします。

バックライトタイマー

バックライトが点灯する時間を選びます。

5S　　：5秒間点灯します。
15S　　：10秒間点灯します。
30S　　：30秒間点灯します。
常にオン　：点灯し続けます。

バージョン

バージョン情報を表示します。

【表示画面】

バージョン **VER XXX**

消去する

曲ファイルを消去する

注意

- 本機の操作では、曲ファイルの消去はできません。曲ファイルを消去する場合は、本機とパソコンを接続して行ってください。
- 一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要なファイルかをよく確かめてから行ってください。

1 ***P.23*****に従って消去したい曲ファイルが入っているSDメモリーカードを本機に差し込んでから、*****P.31*****の手順2に従って本機とパソコンを接続します。**

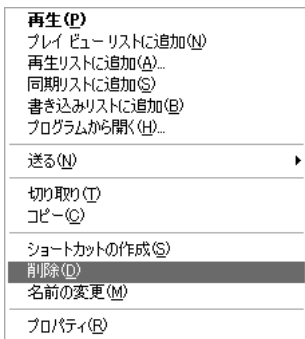
2 **「マイコンピュータ」を開き、本機に該当する「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。**

リムーバブル ディスク

消去の対象が本機であることを確認してから実行してください。誤って他のドライブを選ぶとパソコン上の大切なデータやファイルを消去することになりますのでご注意ください。

3 消去したい曲ファイルを右クリックして、［削除］を選びます。

複数の曲ファイルを選ぶときは、「Ctrl」キーを押しながら選んでください。

再生(P)
プレイ ビュー リストに追加(N)
再生リストに追加(A)...
同期リストに追加(S)
書き込みリストに追加(B)
プログラムから開く(H)...
送る(N)
切り取り(T)
コピー(C)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)

「XXXをゴミ箱へ移しますがよろしいですか？」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

消去する曲ファイルを「ゴミ箱」フォルダへドラッグ&ドロップした後、「はい」を選んでも消去できます。

4 終了したら、***P.35***の手順に従って本機をパソコンから取り外します。

SDメモリーカードをフォーマット(初期化)する

フォーマット（初期化）とは、SDメモリーカードに曲ファイル及びデータを記録できるようにする作業です。
SDメモリーカードをフォーマットする場合は、本機の操作ではできません。
以下の手順に従ってパソコンと接続してから行ってください。

注意

- フォーマット（初期化）すると、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されますので、内容をよく確かめてから実行してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。

1 ***P.23*に従ってフォーマットしたいSDメモリーカードを本機に差し込んでから、*P.31*の手順2に従って本機とパソコンを接続します。**

2 **「マイコンピュータ」を開き、本機に該当する「リムーバブルディスク」を右クリックし、「フォーマット」をクリックします。**

リムーバブル ディスク

フォーマットの対象が本機であることを確認してから実行してください。誤って他のドライブをフォーマットするとパソコン上の大切なデータやファイルを消去することになりますのでご注意ください。

3 「FAT32」または「FAT16」(FAT) を選び、「開始」ボタンをクリックします。

フォーマット - リムーバブル ディスク (F:)
容量(P):
XXX MB
ファイル システム(F)
FAT
アロケーション ユニット サイズ(A)
標準のアロケーション サイズ
ボリューム ラベル(L)
フォーマット オプション(O)
クイック フォーマット(Q)
圧縮を有効にする(E)
MS-DOS の起動ディスクを作成する(M)
開始(S)
閉じる(C)

4 フォーマットが終わりましたら、「閉じる」ボタンをクリックします。

5 終了したら、***P.35***の手順に従って本機をパソコンから取り外します。

用語解説

MP3（MPEG-1 Audio Layer3）

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGが制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10の圧縮率が得られます。

WMA（Windows Media Audio）

マイクロソフト社が開発した音声圧縮方式、及びそれを使用したオーディオファイルです。この圧縮方式では、約1/20の圧縮率が得られます。

ID3タグ

MP3ファイルが持っているアーティスト名や曲名、CDアルバム名などの曲情報で、デジタルオーディオプレーヤーで再生するときに表示するための規格です。

ビットレート

１秒間に転送されるデータ量の単位で、単位はbps（bit per second）。数値が多きほど音質は良くなりますが、CDとほぼ同等の音質と言われているビットレートは、MP3では128kbps、WMAでは64kbpsです。

DRM

デジタル著作権管理。インターネットを通じて音楽や映像を配信する際に、違法なコピーを防止するために使われます。コンテンツとともに再生のためのライセンスを配布するため、ライセンスのない別のパソコンでは再生できず、デジタルプレーヤーもDRMに対応していない機器では再生できません。

付録

故障とお考えになる前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

電池・電源

症状	主な原因	処置
電源がオンにならない	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。***P.16***
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源をオンにします。***P.16***
	●ホールド状態になっている。	→HOLDスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度電源をオンにします。***P.20***
電池の消耗が早い	●温度が極端に低い環境で使用している。	—
	●プレイモードを多用している。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に再生される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池または単4形ニッケル水素電池をご使用ください。	—

症状	主な原因	処置
電源が途中でオフになる	●オートパワーオフがはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。
		→オートオフ時間の設定を変更する***P.51***
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***
電池の残量表示が正しく表示されない	●温度が極端に低い環境で使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***

取り込み

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク] が表示されないなど）	●本機を電源オフでパソコンに接続した。	→本機の電源をオンにしてからパソコンに接続する。***P.31***
	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
	●USBハブなどを使用している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンと本機からケーブルを抜いてもう一度しっかり接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。([リムーバブルディスク]が表示されないなど)	●本機の動作を妨げている他のドライバまたはデジタルオーディオプレーヤーがある。[デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]確認してください。	→[USB大容量記憶装置デバイス]に黄色い[!]マークが付いているときは、[USB大容量記憶装置デバイス]を削除してから、本機を取り外し、もう一度接続し直す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。[デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認してください。	→[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]が表示されていないときは、USB機能が無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更してください。
		→[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]に黄色い[!]や赤い[×]マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更してください。

症状	主な原因	処置
パソコンから曲ファイルを本機に転送できない	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンと本機からケーブルを抜いてもう一度しっかり接続する。
	●SDメモリーカードのメモリ残量が不足している。	→ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去してください。
	●再生期間やコピー回数などの制限のついた曲は、著作権の意向によって、転送できなことがあります。	→それぞれ曲に関する内容については、配信者にお尋ねください。

「デバイスマネージャ」

「デバイスマネージャ」は、「マイコンピュータ」から右クリックで「プロパティ」を選ぶか、「コントロールパネル」から「システム」をダブルクリックして、「システムのプロパティ」から開きます。

再生

症状	主な原因	処置
本機で文字が正しく表示されない	●フォントデータの制限により表示できない文字があります。	—
ボタンを押しても反応しない	●ホールド状態になっている。	→HOLDスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度操作してください。
	●パソコンと本機をUSBケーブルで接続している。	→パソコンと本機を接続している間は、操作できません。USBケーブルを取り外してから、操作してください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 ***P.18***
	●結露している。	→そのまま約2、3時間置いてからご使用ください。
音声が聞こえない	●音量が最小になっている。	→音量を上げてください。
	●イヤホン端子に正しく差し込まれていない。	→イヤホンのプラグを正しく差し込んでください。
	●イヤホンのプラグが汚れている。	→乾いた布でプラグを拭き取ってください。

症状	主な原因	処置
音声が聞こえない	●ファイルが入っていない。	→「ファイルがありません！」と表示されるときは取り込んでください。
	●ファイル形式がMP3／WMAではない。	→パソコン上でファイル形式を確認してください。本機はMP3／WMA形式以外の曲ファイルの再生はできません。
音声が割れる／雑音が入る	●MP3／WMAファイル形式のビットレート設定値が低い。	→録音するときに、MP3／WMAのビットレートの設定値を高くしてください。
	●イヤホン端子に正しく差し込まれていない。	→イヤホンのプラグを正しく差し込んでください。
	●イヤホンのプラグが汚れている。	→乾いた布でプラグを拭き取ってください。
バックライトが点灯しない	●バックライトタイマーの設定が「オフ」になっている。	→バックライトタイマーの設定を「オフ」以外に変更してください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***
バックライトが突然オフになる	●バックライトタイマーがはたらいている。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***
表示画面が暗すぎる／明るすぎる	●コントラスト数値が正しくない。	→コントラストを調整してください。

警告表示

表示	主な原因	処置
ファイルがありません！	●再生できるファイルが入っていない。	→再生できるファイルを本機に転送してください。
カードがありません！	●本機にSDメモリーカードが差し込まれていない。	→本機にSDメモリーカードを差し込んでください。

仕　様

表示画面	：	ホワイトバックライトLCD
音楽フォーマット	：	再生 ・MPEG-1 Audio Layer-3 ビットレート：8 ～ 320 kbps ・Windows Media Audio ビットレート：32 ～ 192 kbps デジタル著作権管理（DRM）：DRM9
電池持続時間	：	約10時間※1
周波数特性	：	20～20,000 Hz
出力端子	：	・イヤホン3.5φミニ　：8.0mW+8.0mW 32 Ω ・S/N比　：90 dB
USB端子	：	USB1.1
イコライザ	：	ノーマル、クラシック、ポップ、ロック、ライブ
再生モード	：	ノーマル、リピートワン、リピートオール、リピート&ランダム
動作温度	：	＋0℃～＋40℃
定格出力	：	20mW（JEITA/DC）
電源	：	単4形乾電池×1本
最大外形寸法	：	幅53×高さ56.6×奥行き15 mm
質量	：	約35g（電池含まず）
付属品	：	本体、ネックストラップ付きイヤホン、USBケーブル、ポーチ、単4形アルカリ乾電池（1本）、取扱説明書（保証書付）、曲名日本語表示ファイルCD-ROM

※1 電池持続時間は、MP3ファイル（128kbps）、音量：7、バックライトなしに設定した場合。また、電池の種類、メーカー、保存状態、使用周囲温度などによって変わります。上記はあくまでも目安であり、保証するものではありません。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービス
に関するご相談は
TEL 0120 — 3121 — 68
FAX 0120 — 3121 — 87
（受付時間）
365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱い
についてのご相談は
TEL 0120 — 8802 — 28
FAX 03— 3260 — 9739
（受付時間）
月〜金曜日／9:00〜17:30
携帯、PHSからもご利用できます。
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇
など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

（ヘ）消耗品を取り替える場合。
（ト）本書のご提示がない場合。
（チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望する場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には本書記載のご相談窓口にご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または本書のご相談窓口にお問合せください。
● 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
● このデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後3年です。
● 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

デジタルオーディオプレーヤー保証書　**持込修理**

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HMP-S3	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所 ご芳名	〒　-	様
※販売店	住所 店名	〒　-	TEL

※ 印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用）に使用されて生じた故障または損傷。

（裏面に続く）

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.03（3260）9611　FAX.03（3260）9739